

## 令和3年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	信州活用型ビジュアル教材による学部横断型協同学習の促進	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	農学部農学生命科学科(森林・環境共生)	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	工学部・建築学科、教育学部・技術教育講座、全学教育機構	
実施責任者(所属)	植木達人(農学部)	
取組の目標	本取組は、信州の実例を題材としたビジュアル教材(信州活用型ビジュアル教材)を作成し、学生がそれを視聴した上で、異なる学部の学生がディスカッションをおこない、各自の専門の位置づけをより多角的に知るとともに、学際的な視野を持てるようになることを目的とする。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>1. 信州の事例を題材としたビジュアル教材を作成した(長さ5分程度)。長野県各地にある各年代の代表的木造建築物を紹介し、地域の自然資源を信州の人々がどのように活かしてきたのかを確かめる内容である。上記の教材をeALPS上で学生が視聴したアンケートからは、利用されている樹種や加工法の違いだけでなく、近年では複合的素材が利用されるようになったこと、また信州の人々がそれぞれの時代で高い技術をもって木材を活用してきたことに対する気づきが得られたことが明らかであった。実物を見学することには代えられないが、コロナ禍で移動が制限されるなかで、今後の学習の参考となったものと思われる。</p> <p>2. 農学部農学生命科学科において学部横断的な演習科目の木材工学演習を開講し、工学部建築学科の3年生2名が受講した。受講生は事前学習用の動画をeALPS上で視聴し、演習に臨んだ。そして、同じ動画を視聴済みのティーチングアシスタント(総合理工学研究科農学専攻の大学院生2名)とディスカッションを行いながらベンチを作製した。作製したベンチは、工学部構内に設置した。</p> <p>3. 工学部建築学科において学部横断的な実験科目の建築環境工学実験を開講し、農学部農学生命科学科の2年生4名が受講した。伊那キャンパスで講義と木造軸組構造模型作製が行われ、受講生が作製した模型は食と緑の科学資料館「ゆりの木」に展示した。また、演習の中日には、塩尻市内にある様々な時代の木造建築物(平出遺跡、奈良井宿、えんてらす)の見学を実施した。</p>	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望  (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	c. 半ば達成できた	<p>(評価理由)</p> <p>学部横断的なディスカッションは、学部横断の実験・実習科目を通じておこなう予定であったが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、実施は限定的であった。</p>
		<p>(今後の展望)</p> <p>映像資料の作成については、この間の取り組みによって作成方法が確立されたため、今後も引き続き作成し、eALPS(SHINtube)やYoutubeと</p>

		<p>いった媒体に掲載して、学生の事前・事後学習や相互討論、あるいは他大学の施設共同利用の際に役立つようにする予定である。</p>
--	--	---